

目次

領域	単元番号	単元名	ページ	年間予定	学習日	復習日	理解度(○△×)
計算基礎	1	倍数と約数	4		/	/	○ △ ×
	2	分母のちがう分数	6		/	/	○ △ ×
	3	分数のかけ算	8		/	/	○ △ ×
	4	分数のわり算	10		/	/	○ △ ×
式の計算	1	正負の数の加減	12		/	/	○ △ ×
	2	正負の数の乗除	15		/	/	○ △ ×
	3	正負の数の四則計算, 素数の積	18		/	/	○ △ ×
	4	文字式の表し方	21		/	/	○ △ ×
	5	文字式の計算①	24		/	/	○ △ ×
	6	文字式の計算②	27		/	/	○ △ ×
	7	単項式と多項式・式の乗除	30		/	/	○ △ ×
	8	式の加減	33		/	/	○ △ ×
	9	式の利用	36		/	/	○ △ ×
	10	式の展開	39		/	/	○ △ ×
	11	式の展開の利用	42		/	/	○ △ ×
	12	因数分解	45		/	/	○ △ ×
	13	因数分解の利用	48		/	/	○ △ ×
	14	平方根	51		/	/	○ △ ×
	15	平方根の計算	54		/	/	○ △ ×
	16	平方根の計算の利用	57		/	/	○ △ ×
方程式	1	方程式の解法	60		/	/	○ △ ×
	2	方程式の利用①	63		/	/	○ △ ×
	3	方程式の利用②	66		/	/	○ △ ×
	4	方程式の利用③	69		/	/	○ △ ×
	5	連立方程式の解法①	72		/	/	○ △ ×
	6	連立方程式の解法②	75		/	/	○ △ ×
	7	連立方程式の利用①	78		/	/	○ △ ×
	8	連立方程式の利用②	81		/	/	○ △ ×
	9	2次方程式とその解①	84		/	/	○ △ ×
	10	2次方程式とその解②	87		/	/	○ △ ×
関数	1	比例	90		/	/	○ △ ×
	2	比例とグラフ	93		/	/	○ △ ×
	3	反比例とグラフ	96		/	/	○ △ ×
	4	1次関数とグラフ	99		/	/	○ △ ×
	5	直線の式	102		/	/	○ △ ×
	6	2元1次方程式とそのグラフ	105		/	/	○ △ ×

領域	単元番号	単元名	ページ	年間予定	学習日	復習日	理解度(○△×)
中学1年生の図形	1	平面図形の性質	108		/	/	○ △ ×
	2	作図	111		/	/	○ △ ×
	3	いろいろな立体とその見方	114		/	/	○ △ ×
	4	空間の位置	117		/	/	○ △ ×
	5	体積・表面積	120		/	/	○ △ ×
中学2年生の図形	1	平行線・多角形と角①	123		/	/	○ △ ×
	2	平行線・多角形と角②	126		/	/	○ △ ×
	3	合同と証明	129		/	/	○ △ ×
	4	二等辺三角形の性質	132		/	/	○ △ ×
	5	直角三角形	135		/	/	○ △ ×
	6	平行四辺形	138		/	/	○ △ ×
	7	特別な平行四辺形	141		/	/	○ △ ×
統計・確率	1	資料の活用	144		/	/	○ △ ×
	2	データの分布	147		/	/	○ △ ×
	3	確率	150		/	/	○ △ ×
演習編	1	正負の数	153		/	/	○ △ ×
	2	文字式	156		/	/	○ △ ×
	3	式の計算	159		/	/	○ △ ×
	4	数と式の計算	162		/	/	○ △ ×
	5	1次方程式	165		/	/	○ △ ×
	6	連立方程式	168		/	/	○ △ ×
	7	方程式	171		/	/	○ △ ×
	8	比例・反比例	174		/	/	○ △ ×
	9	1次関数	177		/	/	○ △ ×
	10	中学1年生の図形	180		/	/	○ △ ×
	11	中学2年生の図形	183		/	/	○ △ ×
	12	資料の活用	186		/	/	○ △ ×
	13	データの分布, 確率	189		/	/	○ △ ×

ポイント

1

倍数と公倍数



ある整数に整数をかけてできる数を、その整数の**倍数**といます。

例 4の倍数 → $4 \times 1 = 4, 4 \times 2 = 8, 4 \times 3 = 12, 4 \times 4 = 16, \dots$ 4, 8, 12, 16, …

* 4の倍数は、4でわり切れて、商が整数になる数です。

* 倍数というときには、0の倍数やある整数の0倍は考えないことにします。



いくつかの整数の共通な倍数を、これらの整数の**公倍数**といい、公倍数のうち、いちばん小さい数を、**最小公倍数**といます。

例 4の倍数 → 4, 8, 12, 16, 20, 24, ……
 6の倍数 → 6, 12, 18, 24, ……
 4と6の公倍数 → 12, 24, ……
 最小公倍数 ↑

4の倍数 6の倍数
 4 8 12 6
 16 20 24 18
 28 … … 30 …
 4と6の公倍数

* 公倍数は、最小公倍数の倍数になっています。

《4と6の公倍数の求め方》

① 大きい方の数6の倍数は、6, 12, 18, 24, 30, 36, ……

この中から、小さい方の数4でわり切れる数を見つけて、12, 24, 36, ……

② 4と6の最小公倍数は12です。4と6の公倍数は、12の倍数になっているので、
 $12 \times 1 = 12, 12 \times 2 = 24, 12 \times 3 = 36, \dots$

確認問題 1 次の問いに答えなさい。

□(1) 次の数の倍数を、小さい方から順に5つ答えなさい。

□① 7



1

〔

□② 9



1

〔

□③ 15



1

〔

□④ 26



1

〔

□(2) 次の()の中の数の公倍数を、小さい方から順に3つ求めなさい。

□① (3, 7)



1

〔

□② (9, 12)



1

〔

□③ (7, 28)



1

〔

□④ (16, 20)



1

〔

□⑤ (2, 5, 8)



2

〔

□⑥ (6, 9, 12)



2

〔

□(3) 次の()の中の数の最小公倍数を求めなさい。

□① (6, 14)



1

〔

□② (15, 18)



1

〔

□③ (8, 12, 16)



2

〔

ポイント

2

約数と公約数



ある整数をわり切ることのできる整数を、その整数の^{やくすう}約数といいます。

例 6の約数 → $6 \div \textcircled{1} = 6$, $6 \div \textcircled{2} = 3$, $6 \div \textcircled{3} = 2$, $6 \div 4 = 1$ あまり 2, $6 \div 5 = 1$ あまり 1,
 $6 \div \textcircled{6} = 1$ 1, 2, 3, 6

* 1 はすべての整数の約数です。また、もとの整数も約数に入れます。



整数○が整数△でわり切れるとき、△は○の約数、○は△の倍数です。

例

$6 = 2 \times 3$
 2や3の倍数 ← → 6の約数



いくつかの整数の共通な約数を、それらの整数の^{こうやくすう}公約数といい、公約数のうち、いちばん大きい数を、**最大公約数**といいます。

例

12の約数 → 1, 2, 3, 4, 6, 12

18の約数 → 1, 2, 3, 6, 9, 18

12と18の公約数 → 1, 2, 3, 6
 最大公約数 ↑ 1, 2, 3, 6

12の約数 18の約数
 4 12 1 2 3 6 9 18
 12と18の公約数

* 公約数は、最大公約数の約数になっています。

《12と18の公約数の求め方》

① 小さい方の数12の約数は、1, 2, 3, 4, 6, 12

この中から、大きい方の数18をわり切る数を見つけて、1, 2, 3, 6

② 12と18の最大公約数は6です。12と18の公約数は、6の約数になっているので、6の約数を全部書いて、1, 2, 3, 6

確認問題 2 次の問いに答えなさい。

□(1) 次の数の約数を、小さい方から順に全部答えなさい。

□① 7

✎ 1

[

□② 25

✎ 1

[

□③ 40

✎ 1

[

□④ 56

✎ 1

[

□(2) 次の()の中の数の公約数を、全部求めなさい。

□① (12, 16)

✎ 1

[

□② (18, 27)

✎ 1

[

□③ (30, 45)

✎ 1

[

□④ (36, 60)

✎ 1

[

□⑤ (9, 12, 15)

✎ 2

[

□⑥ (28, 42, 70)

✎ 2

[

□(3) 次の()の中の数の最大公約数を求めなさい。

□① (24, 42)

✎ 1

[

□② (32, 48)

✎ 1

[

□③ (18, 36, 54)

✎ 2

[